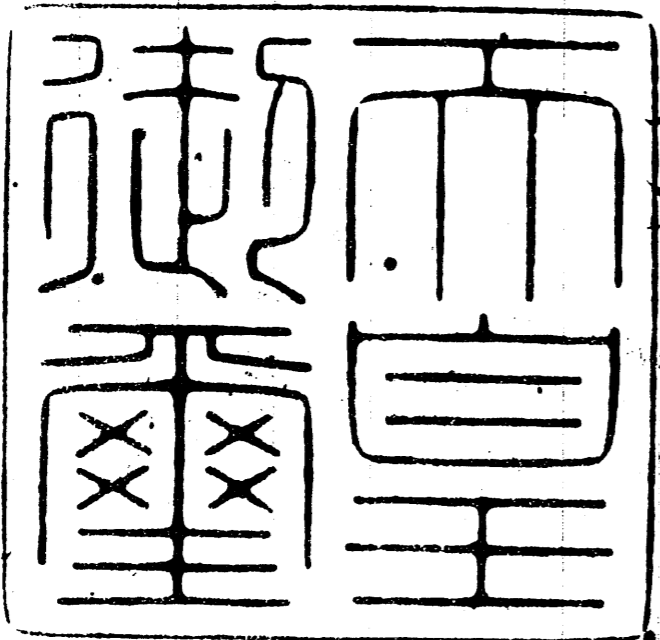


勅令第二百三十五號

朕戰時海運管理令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

裕仁



昭和十七年三月二十四日

内閣總理大臣
拓務大臣
逓信大臣

東條英機
井聖碩
寺島健

勅令第二百三十五號

戰時海運管理令

第一章 總則

第一條 國家總動員法（昭和十三年勅令第三百十七號）ニ於テ依ル
場合ヲ含ム以下同ジ）第四條ノ規定ニ基ク船舶運賃會（海運事
業ノ統制ノ爲ニスル經營ヲ目的トスル團體ヲ謂フ以下同ジ）ノ
運航スル船舶ニ乗組マシムベキ船員ノ任用、同法第六條ノ規定
ニ基ク被徵用船員ノ解雇、從業、退職又ハ給與ニ關スル命令、
同法第八條ノ規定ニ基ク船舶運賃會ノ運航スル船舶ノ使用ニ關
スル命令、同法第十三條ノ規定ニ基ク船舶運賃會ヲシテ運航セ
シムベキ船舶ノ使用及船員ノ衛生及教育訓練ニ關スル施設ノ管

理竝ニ同法第十八條ノ規定ニ基ク船舶運營會ノ設立ニ關スル命令及船舶運營會ニ關シ必要ナル事項ニ付テハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二章 船舶使用

第二條 遞信大臣ハ命令ヲ以テ定ムル日本船舶ヲ使用スルコトヲ得但シ陸軍官憲又ハ海軍官憲ガ法令又ハ契約ニ基キテ爲ス船舶ノ使用ヲ妨ゲズ

第三條 遞信大臣船舶ヲ使用セントスルトキハ當該船舶ノ所有者ニ對シ使用令書ヲ送達スベシ但シ已ムヲ得ザル場合ニ於テハ權原ニ基キ當該船舶ヲ占有スル者（以下管理者ト稱ス）ニ對シ之ヲ送達スルヲ以テ足ル

前項本文ノ場合ニ於テ所有者ガ管理者ニ非ザルトキハ遞信大臣ハ管理者ニ對シテモ令書ヲ送達スベシ

第四條 遞信大臣令書ノ送達ヲ爲シタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ官報ニ公告スベシ但シ車機保護上具ノ所持ニ必要アリト認ムルトキハ使用ノ目的タル船舶ニ付權利ヲ有スル者（令書ノ送達ヲ受ケタル者ヲ除ク）ニシテ知レタルモノニ對シ之ヲ通知シ公告ニ代ノルコトヲ得

第五條 令書ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

- 一 令書ノ送達ヲ受クベキ者ノ名
- 二 使用スベキ船舶ノ名稱及番號
- 三 使用スベキ船舶ノ引渡ノ時期及場所

四 使用ノ期間

五 其ノ他必要ト認ムル事項

第六條 使用ノ目的タル船舶ノ所有者又ハ管理者ハ使用ニ支障ヲ及ボス虞ナキ場合ヲ除クノ外遞信大臣ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ左ニ掲グル行爲ヲ爲スコトヲ得ズ

一 當該船舶ヲ改造シ又ハ修繕スルコト

二 當該船舶ノ機關若ハ機裝品又ハ其ノ部分品若ハ附屬品ヲ撤去シ又ハ其ノ備附ヲ止ムルコト

三 當該船舶ヲ讓渡シ若ハ賃貸シ又ハ抵當權ノ目的ト爲シ其ノ他當該船舶ニ付新ナル處分ヲ爲スコト

第七條 使用ノ目的タル船舶ノ所有者又ハ管理者ハ當該船舶ニ付

讓渡其ノ他ノ事由ニ因リ他ノ者ガ所有者若ハ管理者タルニ至リタルトキ又ハ滅失、毀損其ノ他已ムヲ得ザル事由ニ因リ第九條ノ規定ニ依ル引渡ヲ爲スコト能ハザルニ至リタルトキハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ依リ遲滞ナク之ヲ遞信大臣ニ報告スベシ

前項ノ規定ハ前條ノ許可アリタル場合ニハ之ヲ適用セス

第八條 遞信大臣令其ヲ送達シタル後第九條ノ規定ニ依ル引渡前ニ於テ當該船舶ヲ使用セザルモノト決定シタルトキハ其ノ所有者及管理者ニ對シ其ノ旨ヲ通知スベシ

第四條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第九條 使用ノ目的タル船舶ノ所有者又ハ管理者ハ令書ニ記載シ

タル引渡ノ時期及場所ニ於テ當該船舶ヲ遞信大臣ニ引渡スベシ」
前項ノ規定ハ當該船舶ニ付強制執行手續、國稅徵收法ニ依ル強
制徵收手續其ノ他此等ノ手續ニ準ズベキモノノ進行中ト雖モ其
ノ適用ヲ妨ゲズ

第十條 遞信大臣ハ當該官吏ヲシテ使用ノ目的タル船舶ノ引渡ヲ
受ケシムルモノトス

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ引渡ヲ受ケシムル場合ニ於テ
ハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帯セシムベシ

第十一條 當該官吏船舶ノ引渡ヲ受ケタルトキハ受領證書ヲ作り
引渡ヲ爲シタル所有者又ハ管理者ニ之ヲ交付スベシ

當該官吏前項ノ規定ニ依リ受領證書ヲ管理者ニ交付シタル場合

ニ於テハ遲滞ナク所有者ニ其ノ贖本ヲ送達スベシ

第十二條 使用ノ目的タル船舶ノ使用權ハ當該船舶ノ引渡アリタ
ル時ニ於テ政府之ヲ取得シ其ノ他ノ權利ハ使用ノ期間具ノ行使
ヲ停止セラレ得シ使用ヲ妨ゲザルモノハ此ノ限ニ在ラズ

第十三條 遞信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ破使用船舶ヲ船舶運
營會ニ貸付クルモノトス

第十四條 船舶ノ使用期間満了シ又ハ其ノ使用ヲ廢止スルトキハ
遞信大臣ハ當該船舶ヲ所有者ニ返還スベシ出シ返還ノ時期ニ於
テ管理者タルコトヲ得ベキ者ヨリ豫メ請求アリタルトキハ其ノ
者ニ返還スルコトヲ得

遞信大臣前項ノ規定ニ依リ船舶ヲ返還セントスルトキハ豫メ返
還通知書ヲ返還ヲ受クベキ者ニ送達スベシ出シ所有者用レザル

内閣

場合又ハ所有者ニ送達スルコト著シク困難ナル場合ニ於テ前項
田書ノ規定ニ依ル請求ナキトキハ官報ニ公告スルヲ以テ足ル

第十四條ノ規定ハ前項本文ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十五條 返還通知書ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

一 返還ヲ受クベキ者ノ名

二 返還スベキ船舶ノ名稱及番號

三 返還ノ時期及場所

四 其ノ他必要ト認ムル事項

第十六條 船舶ノ使用權ハ返還通知書又ハ公告ノ返還時期ニ於テ
消滅ス

第十七條 本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ依リ爲シタル手續
其ノ他ノ行爲ハ使用ノ目的タル船舶ノ所有者又ハ關係者ノ承繼

人ニ對シテモ其ノ效力ヲ有ス

第三章 船員徵用

第十八條 遞信大臣ハ左ノ各號ニ掲グル者ヲ徵用スルコトヲ得

一 第三條第一項ノ規定ニ依ル旨書送達ノ際當該船舶ニ乗組中
ノ船員

二 日本船舶ノ所有者又ハ日本船舶ノ所有者ノ組織スル團體ニ
シテ遞信大臣ノ指定スルモノノ保有スル豫備員タル船員

三 船員職業能力申告令第二條ニ掲グル船員ニシテ前各號ニ掲
グル以外ノモノ

前項第三號ニ掲グル者ノ徵用ハ同項第一號及第二號ニ掲グル者
ノ徵用ニ依リ所定ノ人員ヲ得ラレサル場合ニ限り之ヲ行フモノ

内閣

トス

第十九條 本令ニ依リ徵用スル者ハ船舶運送會ノ運航スル船舶ニ配置セララルモノトス

第二十條 被徵用船員ハ其ノ職務ニ關シ第四十六條ノ規定ニ依リテ爲ス船舶運送會ノ指示ニ從ノベシ

第二十一條 被徵用船員ニ對スル給料、手當、賞與其ノ他ノ給與ハ命令ノ定ムル所ニ依リ船舶運送會之ヲ支給スルモノトス

第二十二條 被徵用船員ノ乗組ム船舶ガ陸軍官憲又ハ海軍官憲ニ於テ使用セララルニ至リタルトキハ就信大臣ハ當該船舶ニ乗組ム船員ノ徵用ヲ解除ス

第二十三條 被徵用船員ノ解雇及退職ハ命令ノ定ムル所ニ依リ遞

信大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ爲スコトヲ得ズ

被徵用船員ニ付テハ雇傭期間ノ満了其ノ他解雇及退職以外ノ事由ニ因リ雇傭關係ノ終了スル場合ニ於テハ引附キ雇傭關係ヲ存續セシムルコトヲ要ス但シ命令ノ定ムル所ニ依リ就信大臣ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前二項ノ規定ハ海員ノ雇人契約ニハ之ヲ適用セズ

第二十四條 被徵用船員ハ就信大臣ノ定ムル服務規律ニ從フベシ

第二十五條 被徵用船員船舶運送會ノ運航スル船舶ニ乗組ミ職務ニ從事中戰慄行爲又ハ之ニ準スベキ危險ニ遭遇シ因リテ傷病ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ政府ハ命令ノ定ムル所ニ依リ本人又ハ其ノ遺族ニ對シ一昨金ヲ支給ス

内閣

内閣

前項ノ遺族ノ範圍及順位ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十六條 船員徵用令第六條、第七條、第十二條第二項、第十

三條第一項、第十七條ノ二、第十九條及第二十條ノ規定ハ第十

八條第一項各號ニ掲グル者ノ徵用ニ付之ヲ準用ス

船員徵用令第八條、第九條及第十六條ノ規定ハ第十八條第一項

第三號ニ掲グル者ノ徵用ニ付之ヲ準用ス

遞信大臣必要アリト認ムルトキハ第十八條第一項第一號及第二

號ニ掲グル者ノ徵用ニ付テハ第一項ノ規定ニ拘ラズ徵用令書及

徵用解除令書竝ニ其ノ交付ニ關シ命令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコ

トヲ得

第二十七條 遞信大臣ハ船舶所有者又ハ海事ニ關スル法人ニ屬ス

ル船員ノ衛生及教育訓練ニ關スル施設ヲ管理スルコトヲ得

第二十八條 遞信大臣ハ前條ノ規定ニ依リ管理スル施設ニ於ケル

船員ノ衛生及教育訓練ニ關スル業務ニ付經營者ヲ指揮監督ス

第二十九條 工場事業場管理令第三條乃至第五條（第二條ノ規定

ヲ準用スル部分ヲ除ク）、第八條乃至第十條及第十二條ノ規定

ハ船員ノ衛生及教育訓練ニ關スル施設ノ管理ニ付之ヲ準用ス但

シ同令第四條第三號中第十四條ノ規定ニ依リ主務大臣ノ職權ノ

一部ヲ行フ官衛ノ長トアルハ戰時海運管理令第六十四條ノ規定

ニ依リ同令第二十八條ノ管則ニ關スル職權ノ一部ヲ行フ海務局

長トス

第四章 船舶運送會

第三十條 船舶運營會ハ戰時ニ於ケル海運ノ總力ヲ最モ有效ニ發揮セシムル爲海運事業ノ統制ノ爲ニスル經營ヲ爲シ且海運ニ關スル國策ノ遂行ニ協力スルコトヲ目的トス

第三十一條 船舶運營會ハ其ノ目的ヲ達スル爲被使用船舶其ノ他ノ船舶ニ依ル海運事業ヲ行フ

船舶運營會ハ遞信大臣ノ命令ニ依リ又ハ其ノ認可ヲ受ケ前項ノ事業ノ外其ノ目的達成上必要ナル附帶事業ヲ行フコトヲ得

第三十二條 船舶運營會ノ構成員タル資格ヲ有スル者ハ日本船舶ノ所有者又ハ日本船舶ノ所有者ノ組織スル團體ニシテ遞信大臣ノ指定スルモノトス

第三十三條 遞信大臣船舶運營會ヲ設立セシメントスルトキハ命

令ノ定ムル所ニ依リ前條ノ規定ニ依リ構成員タル資格ヲ有スル者ニ對シ船舶運營會ノ設立ヲ命ズベシ

前項ノ規定ニ依ル船舶運營會ノ設立ノ命令アリタルトキハ命令

ノ定ムル所ニ依リ創立總會ヲ開キ之ニ諮リテ定款其ノ他船舶運

營會ノ設立ニ必要ナル事項ヲ定メ遞信大臣ノ認可ヲ受クベシ

第三十四條 船舶運營會ノ定款ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ

一 目的

二 名稱

三 事務所ノ所在地

四 構成員ニ關スル規定

五 事業及其ノ執行ニ關スル規定

六 役員ニ關スル規定

七 會議ニ關スル規定

八 資産及會計ニ關スル規定

第三十五條 船舶運營會ハ第三十三條第二項ノ認可アリタル時又ハ國家總動員法第十八條第三項ノ規定ニ依リ定款ノ作成アリタル時成立ス

第三十六條 船舶運營會成立シタルトキハ其ノ構成員タル資格ヲ有スル者ハ繼テ其ノ構成員トス

關東州ニ船籍港ヲ定ムル日本船舶ノ所有者又ハ其ノ團體ハ第三十二條ノ規定ニ拘ラズ渡信大臣ノ認可ヲ受ケ船舶運營會ノ構成員ト爲ルコトヲ得

第三十七條 船舶運營會ニハ左ノ役員ヲ置クベシ

總裁 一人

理事長 一人

理事 若干人

監事 若干人

評議員 若干人

第三十八條 總裁ハ船舶運營會ヲ代表シ其ノ業務ヲ統理ス

理事長ハ總裁ヲ輔佐シ船舶運營會ノ業務ヲ掌理シ總裁事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理シ總裁缺員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ
理事ハ總裁及理事長ヲ輔佐シ船舶運營會ノ業務ヲ分掌シ又ハ之ニ參與ス

業務ヲ分掌スル理事ハ豫メ總裁ノ定ムル順位ニ依リ總裁及理事
長共ニ事故アルトキハ總裁ノ職務ヲ代理シ總裁及理事長共ニ缺
員ノトキハ總裁ノ職務ヲ行フ

監事ハ船舶運營會ノ財産ノ狀況ヲ監査ス

評議員ハ總裁ノ諮問ニ對シ答申シ又ハ總裁ニ對シ意見ヲ具申ス

第三十九條 船舶運營會ノ役員ハ海運ニ關シ經驗アル者及學識ア
ル者ノ中ヨリ遞信大臣之ヲ命ズ

總裁、理事長及理事ノ任期ハ三年、監事及評議員ノ任期ハ二年
トス

第四十條 總裁、理事長及業務ヲ分掌スル理事ハ他ノ職務又ハ商
業ニ従事スルコトヲ得ズ但シ遞信大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ

此ノ限ニ在ラズ

第四十一條 通常總會ハ毎年一回總裁之ヲ招集ス

總裁必要アリト認ムルトキハ何時ニテモ臨時總會ヲ招集スルコ
トヲ得

第四十二條 定款ノ變更ハ總會ニ諮リ總裁之ヲ決ス

第四十三條 總裁ハ毎年總會ニ船舶運營會ノ事業ノ狀況ヲ報告シ

監事ヲシテ財産ノ狀況ヲ報告セシムベシ

第四十四條 船舶運營會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ被使用船舶ヲ借
入ルベシ

第四十五條 船舶運營會ハ遞信大臣ノ指定スル航海及遞信大臣ノ
指定スル人又ハ物ノ運送ヲ爲スベシ

船舶運營會ハ遞信大臣ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ前項ノ航海又ハ運送以外ノ航海又ハ運送ヲ爲スコトヲ得ズ

第四十六條 船舶運營會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ被徵用船員ニ對シ職務ニ關スル指示ヲ爲スベシ

第四十七條 船舶運營會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ被使用船舶ノ所有者ニ對シ一定ノ金額ヲ支拂フベシ

被使用船舶ガ知レタル先取特權又ハ抵當權ノ目的タル場合ニ於テハ船舶運營會ハ前項ノ金額ヲ供託スベシ

先取特權者又ハ抵當權者ハ前項ノ供託金ニ對シテモ其ノ權利ヲ行フコトヲ得

第四十八條 船舶運營會ハ第二十五條第一項ノ規定ニ依ル一時金

ノ支給及第二十六條第一項ニ於テ準用スル船員徵用令第十七條ノ二ノ規定ニ依ル扶助ニ要シタル金額ヲ命令ノ定ムル所ニ依リ國庫ニ納入スベシ

第四十九條 船舶運營會ハ業務規程ヲ設定スベシ

第五十條 船舶運營會ニ運航實務者ヲ置ク
前項ノ運航實務者ハ船舶運營會ノ構成員中ヨリ遞信大臣之ヲ命ズ

第五十一條 運航實務者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ船舶運營會ノ爲ス指示ニ從ヒ船舶ノ運航ニ關スル事務ヲ處理ス
船舶運營會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ運航實務者ニ對シ一定ノ事務處理手数料ヲ支拂フベシ

内閣

第五十二條 船舶運營會ハ其ノ構成員ニ對シ船舶運營會ノ事業遂行ノ爲必要ナル事務ノ處理又ハ報告ノ提出ヲ命ズルコトヲ得
前項ノ規定ニ依リ事務ノ處理又ハ報告ノ提出ヲ命ゼラレタル者ハ遲滞ナク之ニ應ズベシ

第五十三條 船舶運營會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ定款ニ違反シタル構成員ニ對シ過怠金ヲ課スルコトヲ得
前項ノ過怠金ヲ滯納スル者アル場合ニ於テ船舶運營會ノ請求アルトキハ市町村ハ市町村税ノ例ニ依リ之ヲ處分ス此ノ場合ニ於テ船舶運營會ハ其ノ徵收金額ノ百分ノ四ヲ市町村ニ交付スベシ
前項中町村トアルハ町村制ヲ施行セザル地ニ在リテハ之ニ準ズベキモノトス

第二項ノ規定ニ依ル徵收金ノ先取特權ノ順位ハ市町村其ノ他之ニ準ズベキモノノ徵收金ニ次ギ其ノ時効ニ付テハ市町村税ノ例ニ依ル

第五十四條 船舶運營會ノ定款ノ變更並ニ業務規程ノ設定及變更ハ遞信大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第五十五條 船舶運營會ノ剩餘金ノ處分ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第五十六條 遞信大臣船舶運營會ノ目的達成上必要アリト認ムルトキハ船舶運營會ニ對シ必要ナル事業ノ施行ヲ命ジ又ハ定款ノ變更其ノ他必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得

第五十七條 遞信大臣ハ船舶運營會ニ對シ業務及會計ニ關シ監督

内閣

上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得
遞信大臣必要アリト認ムルトキハ監事ヲシテ監査ノ結果ヲ報告
セシムルコトヲ得

第五十八條 船舶運營會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ登記ヲ爲スコト
ヲ要ス

前項ノ規定ニ依リ登記スベキ事項ハ登記ノ後ニ非ザレバ之ヲ以
テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ズ

第五十九條 遞信大臣ハ船舶運營會ノ役員又ハ運航實務者ガ法令
法令ニ基キテ爲ス處分、定款又ハ業務規程ニ違反シタルトキ、
公益ヲ害シタルトキ其ノ他船舶運營會ノ目的達成上不適當ナリ
ト認ムルトキハ之ヲ解任スルコトヲ得

第六十條 船舶運營會ハ遞信大臣ノ命令ニ因リテ解散ス

第五章 雜則

第六十一條 國家總動員法第二十七條ノ規定ニ依リ補償スベキ損
失ハ第二十七條ノ規定ニ依ル處分ニ因リ通常生ズベキ損失及第
二條又ハ第四十五條第一項ノ規定ニ依ル處分ニ因リ生ズベキ損
失ニシテ命令ヲ以テ定ムルモノトス
損失補償請求ノ時期其ノ他損失補償ニ關シ必要ナル事項ハ命令
ヲ以テ之ヲ定ム

第四十七條第二項及第三項ノ規定ハ第一項ノ補償金ニ付之ヲ準
用ス

第六十二條 遞信大臣又ハ海務局長必要アリト認ムルトキハ國家

總動員法第三十一條ノ規定ニ依リ使用セントスル船舶ノ所有者
若ハ管理者、遞信大臣ノ管理ニ係ル船員ノ衛生及教育訓練ニ關
スル施設ノ經營者又ハ船舶運營會ヨリ必要ナル報告ヲ徴シ又ハ
當該官吏ヲシテ其ノ事務所、營業所、船舶其ノ他必要ナル場所
ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類、設備其ノ他ノ物件ヲ檢査セ
シムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢檢査セシムル場合ニ於テ
ハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帯セシムベシ

第六十三條 本令及本令ニ基キテ發スル命令中船舶所有者ニ關ス
ル規定ハ船舶共有ノ場合ニ在リテ船舶管束人ヲ置キタルトキハ
船舶管理人ニ、船舶貸借ノ場合ニ在リテハ船舶借入人ニ之ヲ適

用ス

第六十四條 遞信大臣ハ本令ニ定ムル職權ノ一部ヲ海務局長ニ委
任スルコトヲ得

第六十五條 第二章及第四章ヲ除クノ外本令中遞信大臣トアルハ
朝鮮、臺灣、樺太又ハ南洋群島（以下外地ト稱ス）ニ在リテハ
各朝鮮總督、臺灣總督、樺太廳長官又ハ南洋廳長官トシ海務局
長トアルハ朝鮮又ハ臺灣ニ在リテハ各朝鮮總督府遞信局長又ハ
臺灣總督府交通局總長トス

第二章中遞信大臣トアルハ朝鮮又ハ臺灣ニ船籍港ヲ定ムル日本
船舶ニ付テハ各朝鮮總督又ハ臺灣總督トス

第四條及第十四條第二項中官報トアルハ朝鮮又ハ臺灣ニ在リテ

ハ各朝鮮總督府官報又ハ臺灣總督府報トス
第五十三條中市町村トアルハ朝鮮ニ在リテハ府邑面、臺灣ニ在
リテハ市街庄、南洋群島ニ在リテハ南洋群島地方費トシ市町村
税トアルハ朝鮮ニ在リテハ關稅、臺灣ニ在リテハ市街庄税、南
洋群島ニ在リテハ地方費税トシ百分ノ四トアルハ朝鮮ニ在リテ
ハ百分ノ五トス

第六十六條 遞信大臣船舶運營會ガ内地ニ在ル者ト外地ニ在ル者
トヲ以テ組織セラルル場合ニ於テ之ニ關シ左ニ掲グル處分ヲ爲
サントスルトキハ朝鮮總督、臺灣總督、樺太廳長官又ハ南洋廳
長官ニ協議スベシ但シ第一號及第二號ニ掲グル處分ニ付テハ外
地ニ在ル者ニ對シ處分ヲ爲ス場合ニ限ル

一 第三十二條ノ規定ニ依ル指定。

二 第三十三條第一項ノ規定ニ依ル命令

三 第三十三條第二項ノ規定ニ依ル認可

第六十七條 朝鮮總督、臺灣總督、樺太廳長官又ハ南洋廳長官第
二十一條若ハ第二十五條ノ規定ニ依ル處分又ハ第二十六條第一
項ニ於テ準用スル船員徵用令第十七條ノ二ノ規定ニ依ル處分ヲ
爲サントスルトキハ遞信大臣ニ協議スベシ

第六十八條 本令ニ規定スルモノヲ除クノ外船舶使用、船員徵用
及船舶運營會ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

附・則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス